

学校教育目標

敬愛(徳)

自らを見つめ、他を思いやる二中学生

窮理(知)

自ら学び、互いに高め合う二中学生

実践(体)

自らを鍛え、体を大切にする二中学生

本年度の目指す生徒の姿

【敬愛】

自分も友も慮ることができる生徒に

【窮理】

自分を磨き続けることができる生徒に

【実践】

思いを行動に移す勇気をもった生徒に

昨年度の学校自己評価の結果をもとに、上記の重点を設定しました。重点の達成を目指し、全職員が教育活動において取り組んでいきます。

そして「8項目の観点」によって、アンケート（生徒・職員・保護者）を実施し、本年度の重点を検証していきます。

実 施 内 容	学 校 評 価 の 観 点	
【敬愛】 重点目標 自分を見つめ、願いを高めて 集団づくりをしようとする 基盤づくり	1	違いを受け止め、折り合いをつけられる心の教育の充実を図ることで、友のよさに触れ、多様性を認められる心の育成をする。
	2	学年内や異学年との交流活動や生徒主体の活動中の互いの対話を通して、今の自分を見つめ直し、一歩踏み出す心を育成する。
	3	上記2項目を通して、生徒が「学校が楽しい」と感じる学校にする。
【窮理】 重点目標 学びの広がりや深まりを自 覚できる授業の工夫	4	友に訊(き)く活動、気持ちを伝える活動、傾聴する活動を通して、生徒どうしが多様な考えに触れ、生徒が思わず語り合いたくなる授業をつくる。
	5	学習用端末を授業で文房具として使うことなど、ICTを効果的に活用した学びの実践を行う。
	6	上記2項目を通して、生徒が「学習ができた、わかった」と感じる学校にする。
【実践】 重点目標 よりよい学校生活のために、 友と共に高みを目指して行 動する力の育成	7	職員主導から生徒主導の活動へ転換することで一人一人が活躍できる場を創出し、学級活動、学年活動、生徒会活動のさらなる充実を図る。
	8	地域を知り、地域の方から学び、生き方に視点を当てた活動を通じた系統立てたキャリア教育の実践を行う。